



# 市議会だより

発行：日向市議会 / 2014年10月28日発行  
(平成26年)

No.137



県民参加の森林づくり事業の間伐体験 (美々津小学校・寺迫小学校 5年生の皆さん)

- 市長から提案された議案と審議結果・・・2
- 委員会審査から・・・3
- 請願・陳情と審議結果・・・5
- 一般質問・・・6
- 決算審査から・・・12
- 決算認定と審議結果・・・13
- 総合防災対策特別委員会活動報告・・・15
- 人事案件・・・15
- 議会報告会案内・・・16

### 9月定例会 (平成26年第4回定例会)

◇会期	8月29日～10月7日 (40日間)
◇市長提出議案	報告・・・・・・・・・・ 1件
	人事案件・・・・・・・・ 2件
	条例・・・・・・・・・・ 6件
	事件決議・・・・・・・・ 1件
	補正予算・・・・・・・・ 4件
	決算認定及び事件決議・・ 1件
	決算認定・・・・・・・・ 15件
◇委員会提出議案	意見書・・・・・・・・ 2件
◇請願等	請願・・・・・・・・・・ 3件
	陳情・・・・・・・・・・ 3件

補正  
予算

平成26年度一般会計 9月補正予算 9,885万円  
補正後総額 295億 1,494万円

【主な補正内容】

◆9月補正

☆生活困窮者自立支援事業 300万円  
自立支援法の施行に伴い、支援体制の整備

☆認定こども園整備事業 2,851万円  
認定こども園の施設整備費の助成

☆感染症対策に要する経費 740万円  
予防接種法改正に伴う、新たな定期接種経費  
(成人用肺炎球菌ワクチン、対象者65歳)

☆企業誘致推進事業 2,300万円  
旧日向法務総合庁舎の改修経費



旧日向法務総合庁舎

▼市長から提案された議案と審議結果 第4回定例会 (8月29日～10月7日)

議案番号	議案名	議決結果	付託委員会
報告第8号	専決処分の承認について(平成26年度日向市一般会計補正予算(第2号))	承認(全員一致)	総務政策 産業建設水道
議案第94号	教育委員会委員の任命について	同意(全員一致)	付託省略
議案第95号	公平委員会委員の選任について	同意(全員一致)	付託省略
議案第96号	日向市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第97号	日向市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第98号	日向市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第99号	日向市福祉事務所設置条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第100号	日向市寡婦医療費助成に関する条例の一部を改正する条例	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第101号	日向市企業立地促進条例の一部を改正する条例	可決(賛成多数)	産業建設水道
議案第102号	財産の取得について	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第103号	平成26年度日向市一般会計補正予算(第3号)	可決(全員一致)	総務政策 文教福祉環境 産業建設水道
議案第104号	平成26年度日向市公営住宅事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)	産業建設水道
議案第105号	平成26年度日向市城山墓園事業特別会計補正予算(第1号)	可決(全員一致)	文教福祉環境
議案第106号	平成26年度日向市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)補正予算(第1号)	可決(全員一致)	文教福祉環境

▼表決結果の分かれた議案

議員名	畷原幸裕	海野哲生	三樹喜久代	富井寿一	日高和広	黒木金喜	松葉通明	柏田公和	鈴木富士男	溝口孝	黒木末人	木田吉信	黒木高広	甲斐善重郎	日高一直	坂口英治	西村豪武	黒木円治	岩切裕	甲斐敏彦	荻原紘一	黒木万治
議案第101号 日向市企業立地促進条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●

○は賛成、●は反対。議員名は左から議席順。  
※ 畷原幸裕議員は議長職のため通常は表決権はありません。

(( 討 論 ))

討論とは、採決の前に、議題となっている案件に対し、賛成か反対かの意見を表明することです。

議案第101号 日向市企業立地促進条例の一部を改正する条例

**反対** 大資本の企業や特定の企業への助成策等を根本的に見直し、地域経済の発展と雇用の面で大きな役割を果たしている地元の中小企業・中小業者の経営を守り雇用の安定を図るため、条例を根本的に改正することを求める。  
【日本共産党市議団】

9月定例会

委員会審査から

9月定例会初日に上程された市長提出議案14件について、9日間の議案熟読の後、9月12日に本会議で質疑を行い、それぞれ所管の常任委員会に審査を付託しました。委員会における審査の内容を、委員長報告の中から紹介します。

総務政策常任委員会

総務政策委員会に付託された議案、報告1件、補正予算1件の計2件について、全員一致で可決しました。

審査の中で、6月補正に続き、歳入を1億1760万円増の総額1億5000万円に、歳出もお礼の商品代等6060万円を増額補正する総合政策課所管の「ふるさと日向市応援寄付金」について、6月議会時点では4月の寄付実績をもとに推計せざるを得ず、5月、6月と寄付が急増したため、再度の補正を余儀なくされたとのことでした。ちなみに、8月末段階の実績は、納付済件数が5029件で総額は8626万5000円となっています。また消防本部及び防災推進課所管

の補正予算に関連して、8月20日に広島市で発生した大規模な土砂災害を踏まえ、消防団員の補充状況、土砂災害危険箇所への対応、避難警報発令のタイミング、津波避難経路等整備費補助金の助成の考え方等について質疑がありました。当局からは、土砂災害危険箇所での指定を受けているのは18・7%に止まっている、退職消防団員は補充し現数維持に努めている、避難勧告等の発令は、勧告の遅れだけは絶対になくしたいという思いで、常に早め早めの避難対応を念頭に活動している等の答弁がありました。



▼請願・陳情と審議結果

請願・陳情者名	請願・陳情者	審議結果	付託委員会
(新規) 請願第14号 「特定秘密の保護に関する法律の廃止を求める意見書」採択に関する請願 趣旨 秘密指定の是非をチェックする第三者機関が設けられることになったが、十分な調査審議をする機能が備わっていない。国民の知る権利を侵害する秘密保護法の廃止を求める。	宮崎市旭1丁目8番28号 宮崎県弁護士会 会長 柏田芳徳さん	不採択 (賛成少数)	総務政策
(新規) 請願第15号 「適正な法曹人口のための法曹養成制度の抜本的見直しを求める意見書」採択に関する請願書 趣旨 法的需要が増加し続けると想定されたが、裁判官・検察官は増員されず、弁護士のみが急増し、需給バランスが大きく崩れた。国民の需要にあった法曹人口になるよう、法曹養成制度の抜本的見直しを強く要望する。	宮崎市旭1丁目8番28号 宮崎県弁護士会 会長 柏田芳徳さん	継続審議 (全員一致)	総務政策
(新規) 陳情第22号 日向クルーズターミナル建設に関する陳情書 趣旨 細島工業港にクルーズ船専用の旅客ターミナルを建設し、安定したクルーズ船の寄港の実現、経済の活性化、観光港としての機能の強化を図るよう要望する。	日向市中堀町3丁目107番地 黒木孝宏さん	継続審議 (全員一致)	産業建設水道
(新規) 陳情第23号 日向市議会のインターネット中継の導入に関する陳情書 趣旨 現在、ホームページに議事録、録音ファイルが掲載されているが、より開かれた議会にするために、市議会以外の場所でも本会議や委員会の模様が見られるようインターネット中継の導入を要望する。	日向市上町3-15 一般社団法人 日向青年会議所 理事長 中村真さん 専務理事 平田賢司さん	趣旨採択 (全員一致)	総務政策
(新規) 請願第13号 字名の変更に関する請願書 趣旨 「八重原迫野内」について、迫野内か八重原か場所の特定が困難、字名が長すぎる等の意見が多いので、「八重原」「迫野内」に字名の変更をお願いしたい。	日向市東郷町八重原迫野内694番地1 代表者 八重原区長 藤崎優光さん 日向市東郷町八重原迫野内2545番地1 代表者 迫野内区長 黒木忠雄さん	継続審議 (全員一致)	総務政策
(継続) 陳情第20号 市有地の賃借料軽減に係る陳情 趣旨 経営環境の悪化により、経営改善の努力だけでは追いつかず、今後さらに困難な状況が予想されるので、店舗用地の賃借料を軽減する特段の配慮を求めたい。	日向市東郷町山陰辛244番地6 協同組合東郷ショッピングセンター 代表者 鶴田太美さん ブリッジサイド 社長 新本賢吾さん 土田歯科クリニック 院長 土田孝男さん 黒進亭 社長 谷口 彰さん 七福酒店 社長 藤井武士さん	不採択 (全員一致)	総務政策

※ 請願・陳情の委員長報告について知りたい方は、議会事務局までお問い合わせください。

文教福祉環境常任委員会

付託された条例5件、補正予算3件について、いずれも全員一致で原案のとおり可決しました。  
なお、審査を踏まえ、次の2点を委員会の意見として付記しました。  
まず、子ども・子育て支援新制度における保育事業については、子ども・子育て支援法の施行に伴い児童福祉法が改正され、保育事業の形態が今までと変わることになる。利用者は多様な施設や事業の中からニーズに合ったものを選択することができるようになるので、本事業については広く市民に周知されたい。  
次に、生活困窮者自立促進支援モデル事業については、平成27年4月1日から「生活困窮者自立支援法」が施行されることに先立ち、本市では本年10月1日から来年3月末まで「生活困窮者自立促進支援モデル事業」を日向市社会福祉協議会に委託して実施する予定となっている。本事業は、生活保護に至る前の段階で、生活困窮者が自立した生活を営めるよう支援を行うという重要な事業であることから、生活困窮者からの相談に十分応えることができるよう、相談支援員の資質向上を含め相

談支援体制の充実を図られたい。



現地調査 (城山墓園)

産業建設水道常任委員会

付託された議案5件について、全員一致または賛成多数で可決しました。審査を踏まえ次の2点を付記意見としました。  
企業立地促進条例の一部改正や、取得した国所有の旧日向法務総合庁舎を情報サービス産業の誘致施設とすることで、同分野等の企業進出が期待されると説明があった。今後の企業誘致に際し、「新しい総合計画後期計画」による若者雇用創出プロ



現地調査 (白浜地区コンテナターミナル)

ジェクトに基づき、できる限り正規雇用の地元求職者の優先採用に努めるよう、企業側に対して働きかけを行われたい。  
次に、公共工事の適切な工事管理の実施については、市内の各地域で、市発注の道路事業や災害復旧工事等の各種公共工事が実施されているが、予算執行に際しては、効果的かつ効率的な工事の実施と適切な施工管理が求められている。これら事業実施に当たっては、施工期間中の適切な工事監理のあり方等の見直しを図り、瑕疵発生等の防止により一層努めるなど、工事管理体制の充実に取り組みたい。

▼委員会が提案した意見書の審議結果及び送付先・提出先

意見書・提言書名	審議結果	送付先・提出先
議案第3号 森林整備加速化・林業再生事業の継続を求める意見書	可決 (全員一致)	内閣総理大臣、副総理、内閣官房長官、農林水産大臣、衆議院議長、参議院議長、県選出国會議員、県議會議員、全国議長会
議案第4号 軽度外傷性脳損傷の周知及び労災認定基準の改正等を求める意見書	可決 (全員一致)	内閣総理大臣、総務大臣、文部科学大臣、厚生労働大臣、衆議院議長、参議院議長、県選出国會議員、県議會議員、全国議長会

# 一般質問

## 市政を問う!!

9月定例会では、9月8日から10日までの3日間、市政に関する一般質問が行われ、10人の議員が登壇しました。質問内容は、平和、福祉、防災、経済、産業振興等と多岐にわたっています。これらの中から、登壇議員が選んだ質問と市長等の答弁の要旨を紹介します。  
※答弁者は、市長、教育長等です。



西村豪武 議員  
(改革クラブ結い)

### 予測と調整に基づく 政策展開をすべき

**問** 高速道開通で道の駅ひゅうが等来客数減少の影響がある。「寺迫ちようちよ大橋」付近の絶景を活かし、サービスエリア設置と仮称「スポーツランド日向」の整備やスマートインターチェンジ併設で地域産業・観光面の活性化策等の一体的な取組みを望む。

**答** この沿線に給油所がなく、西日本高速道路株式会社にお願した経緯もある。誘客を図るためには、市町村単独でなく大きな視点で広域観光ルート開発等に関係団体を含め取り組む必要がある。

### 新庁舎建設の考察と課題を問う

**問** 当初計画の延床面積1万2000㎡の6階建を4階建RC造に変更、工事費総額上限45億

**答** 事業費は新庁舎の構造、階層を念頭に設定したものでなく、他自治体事業費の平均単価に想定延床面積を乗じ算出。これからの基本設計段階で具体的に積み上げていく。防災の拠点施設として、長期に亘って使用する施設であり、総合的判断の結果、免震構造の採用が妥当とした。

**問** 円は据置。免震、耐震構造等考察の結果、免震構造とした具体的根拠を示せ。

### 東郷病院改築は必要だが、 問題点の対応は如何に

**問** 市唯一の公立病院としての位置づけなら、全学的アンケートの必要性や「改築基本構想」の総評のハードルの高い数多くの問題点等は如何に払拭するのか。

**答** 今回のアンケートは東郷地区に実施したもの。市はそれに代わる市民説明会を開催した。地域医療との連携強化、退院調整の円滑化、施設改善による病棟コントロール機能等の充実に努める。早期改築を図り、地域ケアの中核施設、災害時の救急病院として対応したい。



三樹喜久代 議員  
(公明党市議団)

### 土砂災害危険箇所の 周知徹底について

**問** 市の土砂災害危険箇所は、本年7月31日の県発表で726箇所ある。市は、市民に防災ハザードマップで確認するよう促しているが、全ての危険箇所が記載されているのか。また災害が迫る時、いろいろな機関からの情報を判断する防災の専門家が必要ではないのか。

**答** 平成19年に作成した時点での危険箇所は全て盛り込んでいる。その後位置付けられた14箇所については、地元住民への説明会を県と実施している。専門家の必要性は認識しており、今年度中に任期付専門職員の配置を考えている。

### 「人が育ち仕事がつまめる」 雇用対策について

**問** 実践型地域雇用創造事業は、平成26年度で終了する。効果



黒木高広 議員  
(市政会)

### 地域コミュニティの 活性化について

**問** 公民館活動は、防災対策、子育て支援、高齢者支援等さまざまな活動を行っている。ライフスタイルの変化に伴い、自治会未加入世帯が増加傾向にある。今後、自治会の運営に支障が出ると思うが、加入促進の取組みについて伺う。

**答** 「広報ひゅうが6月号」に特集記事を掲載し、未加入世帯に配布を行った。また、市内企業における従業員の加入促進については、多くの従業員を抱える企業等に働きかけを行っていききたい。

### 防災意識・防災力向上について

**問** 昨今の自然災害は甚大な被害が市か」と思うところでもある。高齢化等により防災意識の低下が見

をどう評価し、次に繋げるのか。またナレコミ日向(るーくる)の取組みについて伺う。

**答** 好評を得ており、求職者のみならず、事業主からも事業継続を希望する声が届く。3年間の目標値をすでに超え、232人の就職に結びついている。継続して国の認定が受けられるように積極的に要望したい。サイトには、市内の求人情報、空き家や保育園の情報などを掲載している。アクセス数は、県外からが約半数となっている。

### 小・中学校における集団フツ化物 洗口の必要性について

**問** 学校保健で「う蝕」は有病率1位で、義務教育期間が最大の多発期間である。フツ化物洗口は、市内のほとんどの保育所・幼稚園で実施され、成果を上げている。小・中学校での実施の問題点について伺う。

**答** むし歯になりにくくする効果があると考えられる一方、その毒性や取り扱いを不安視する主張もあり、集団ですることの是非には厳しいものがある。

られるが、減災に向けて、防災意識と防災力の向上が重要であると考えられる。現状について伺う。

**答** 防災訓練に参加する年齢層が高く、若い世代の参加が少ない傾向にある。自主防災会には、地域の行事と合わせて開催する訓練をはじめ、PTAや企業等と連携した訓練など、防災力向上の取組みをお願いしていきたい。

### 児童クラブについて

**問** 児童クラブは、保護者が安心して働ける支援である。現在は小学校3年生までを対象に受け入れられているが、小学校卒業までの受け入れとする考えはないのか伺う。

**答** 児童が放課後を安全・安心に過ごすため、小学校卒業までの児童の受け入れは必要性が高いものと考えている。「子ども・子育て支援新制度」の平成27年度施行に向けて、実施場所や児童指導員の確保等の課題もあることから、引き続き、他市の事例も参考にしながら検討したい。



日高和広 議員  
( 市政会 )

プロスポーツキャンプ誘致  
について

**問** 高速道路開通がプロスポーツキャンプ誘致のチャンスだと思ふ。より強力な誘致活動が必要だと思ふが、市の見解と市長の意気込みを伺う。また、お倉ヶ浜総合公園の芝生を張り替えて、サッカーチームの誘致に力を入れてはどうか。

**答** キャンプ地として国内プロスポーツチームを呼び込むには、施設の整備が必要不可欠である。有識者やプロ野球関係者の意見も参考にしながら、年次の整備を進めていきたい。

防災行政無線（サイレン）  
について

**問** 本庁のモーターサイレンについては、かなりの大音量である。新音源による市内で統一されたメロディーに切り替えてはどうか。



柏田公和 議員  
(改革クラブ 結い)

現況での高齢者介護の問題点は

**問** 第6期介護保険事業計画作成のために、日常生活圏域二一ズ調査を実施したが、二一ズ調査から見えてきた青・壮年、高齢者を含めた「支える側と支えられる側」の現状を、行政側として何が問題だと認識したのか。

**答** 単身高齢者世帯や、老夫婦世帯が増加しているが、在宅での生活志向が高まる中、高齢者を地域でどのように支え、家族介護者に対する支援をどのように行うかが課題になってくる。

現状での医師会との協力体制は

**問** 地域包括ケアシステムには不可欠な医師会との連携は、現状としてどの程度形として出来上がっているのか。

**答** モーターサイレンと同報系防災行政無線は別の設備である。有事の際の情報伝達手段としては、安全安心のためにも、複数の設備を整備しておく必要があると考えており、12時のモーターサイレンについては日常の吹鳴試験として現状どおり運用していきたい。

細島港と内陸型工業団地  
について

**問** 細島港の1〜4区の工業団地の未利用地が少なくなった現在、日向製練所北側の開発を急ぐ必要があるのではないか。また、内陸型工業団地の開発も視野に入れてはどうか。

**答** 現在、県において、「細島港港湾計画」の改訂に向けた検討が進められている。新たな岸壁や用地の整備等についても、国や県と連携しながら議論していきたい。また、内陸の民間未利用地の活用も踏まえ、適地の調査を行っているところである。



**答** 日向市東臼杵郡医師会において、在宅医療協議会が組織され、25年度・26年度は各種研修会が開催されている。行政との具体的な繋がりについては、研修部分は医師会が行い、医療と在宅の連携はそれぞれの地区において模索している状況である。連携等には、行政からも参加するよう心掛けていく。

空き家対策について

**問** 平成26年3月議会では「空き家問題は研究していく」との答弁だったが、6月議会では「検討していく」との答弁が出された。わずか3カ月の間に研究した結果、検討せざるを得ない内容があったのか伺う。

**答** 全国的に空き家問題が社会問題になり、国の方も横断的な対策法案の検討に入った。全国でも二百数十の自治体が条例を作っている。本市においてもそのような実態があるので、先進地の事例、国の動きを注視しながら検討していきたい。



甲斐善重郎 議員  
( 市政会 )

東郷病院の改築計画について

**問** 築後40年という東郷病院の改築基本計画はいつ頃できるのか。

**答** 平成25年度に策定した病院改築基本構想を基に改築の方向性を決定し、現在、庁内および外部委員会での協議を重ね、基本計画を策定しているところである。基本計画は今年度中に策定を進め、27年度は実施計画に取り組み、平成28年度の着工を目指したい。



東郷病院

女性向けの雇用の場対策に  
ついて

**問** 過疎の地域にも女性向けの小規模の雇用の場を誘致する計画はないのか。

**答** 今年度、取得を予定している旧日向法務総合庁舎を活用し、女性の雇用が多く見込まれる情報サービス産業を誘致したいと考えている。

耳川杉のブランド化について

**問** 宮崎県は、杉の素材生産量日本一が昨年、一昨年と続いている。今日の宮崎杉材「耳川産材」を名実共に日本の杉として確立するために、全国杉サミットの開催を門川、美郷、諸塚、椎葉の関係機関と協議のうえ、本市で開催する考えはないか。

**答** 面白い提案なので、一つのきっかけづくりとして調査研究していきたい。

指定管理者制度について

**問** 指定管理者制度を35施設に導入して約10年経過するが、現状及び数値的な行政コスト削減効果について伺う。

**答** 指定管理者が施設の管理運営を通して、利用者である市民と行政との橋渡しの役割を担うことで、住民の行政に対する理解が深まる効果が考えられる。制度導入前後の委託料の比較等による直接的な効果額として、1億3466万1000円を計上している。



木田吉信 議員  
( 政真会 )

自治会のあり方について

**問** 世帯数の減少や未加入世帯の増加などで、自治会の運営が困難になっている。自治会への支援事業及び地域における指導者の養成について伺う。

**答** 支援事業については、公民館の整備以外に防災・防犯・環境美化・生涯学習など地域におけるさまざまな活動に対して支援を行っており、地域の声も参考にして地域活性化に努めたい。指導者養成については、リーダーの資質向上の方策を研究していきたい。

地域コミュニティ組織制度  
について

**問** 細島・平岩・塩見・東郷の4地区をモデルとして実施しているが、これまでの成果と今後の取り組みについて伺う。



黒木万治 議員  
(日本共産党市議団)

来年10月からの消費税10%を  
年内に判断することについて

**問** 経済の立ちなおる見通しのな  
いまの現状での消費税増税  
10%について、反対の態度を明確に  
するべきではないか。

**答** 増税の時期については、経済  
動向を注視しながら軽減税率  
の導入等、制度設計についても検討  
を行うなど、慎重のうえにも慎重を  
期してほしいと考えている。

認知症の実態は  
掌握しているのか

**問** 全国で認知症800万人時代  
と言われているが、本市の実  
態をどう把握しているか。地域支援  
体制はどうなっているか。将来増え  
るだろうと予想される認知症患者の  
対策をどう描いているのか。

**答** 本市の認知症高齢者は、平  
成26年9月1日現在で約  
2600人、予備軍を含めると約  
4300人と推定され、認知症施策  
の重要性がますます増加している  
と認識している。今年度より認知症  
地域支援推進員等設置事業を実施  
し、市内6箇所の地域包括支援セン  
ターに認知症地域支援推進員を置  
くことで、増加する認知症相談に対  
応できる体制の整備を図る。

商店リニューアル助成事業の  
実施について

**問** 景気対策として商店リニュー  
アル助成事業を住宅リフォーム  
ム促進事業と合わせて、新年度から  
実施すべきではないか。これまで何  
度が提案してきたが、どう検討した  
のか。

**答** 住宅リフォーム促進事業を平  
成16年度から継続して実施し  
ている。商店リニューアル助成事業  
については、事業を実施している自  
治体への視察を行い、事業制度や内  
容等を調査研究してきた。今後も引  
き続き検討していきたい。



岩切 裕 議員

ICT導入にグランドデザインを

**問** 再来年からのマイナンバー制  
導入を含め、総合的なICT  
(情報通信技術)の利活用に関する  
グランドデザイン(将来的全体像)  
が必要だと思いが如何。

**答** 既に、ICTを活用した救急  
車の車載カメラによる映像伝  
送や地理情報システムの研究など  
に取り組んでいる。マイナンバー制  
入については、業務の効率化や市民  
サービスの向上について検討するた  
め「日向市社会保障・税番号制度導  
入庁内検討委員会」を8月19日に設  
置した。

地域における介護の  
担い手育成を

**問** 要支援高齢者への支援が市町  
村事業化する来年度からの改  
正介護保険法施行に備え、先進事例

等情報を集め、せめて地域で高齢者  
への支援を担える人材の育成、また  
受け皿となる地域づくりに着手す  
べきではないか。

**答** 「地域支え合い推進員」の設  
置で、生活支援の担い手養成  
が必要である。日常生活圏域ニーズ  
調査結果の分析や地域ケア会議等  
により、地域課題の把握と社会資源  
の掘り起こしを行い、地域の特性に  
合った事業化等を進める。

病院改築には  
コンセプトが抜けていないか

**問** 今頃になって気付いて忸怩た  
る思いだが、東郷病院の改  
築計画には地域医療のあり方など  
のコンセプトの議論が抜けている。  
今、新たに医療機関の建て替えを考  
える際、その議論がないというの  
あり得ないと思いが如何。

**答** 基本計画案の中に、患者中心  
の医療、救急医療としての貢  
献、医療の質の向上などを基本理念  
として掲げている。地域医療もやっ  
ているし、中山間地の医療機関とし  
て、生命を守るという役割を十二分  
に果たしてきている。



荻原 紘一 議員  
(日本共産党市議団)

戦争の道でなく  
憲法をいかし平和の道を

**問** 今回もたれた沖縄県南風原町  
立各小学校児童及び学童疎開  
事業が大きく成功した。子ども達の  
参加を中心にすえた学校と関係者、  
地域住民の支援によつてすばらしい  
感動的な内容、教訓がたっぷりだされ  
たのではないか。

**答** 「学童疎開体験を聞く会」や「疎  
開の思い出の地巡り」「短歌の  
創作・発表」など、意義ある交流が  
行われた。今後も子ども達が平和の  
大切さを認識していけるような教育  
を進めていきたい。

子どもが大切にされ  
"希望"を育む学校を

**問** 登校拒否・不登校の児童・生  
徒の実情と原因・要因は何か。  
また対応について、目標、目的は学

校に再登校させることだけではな  
く、登校拒否の一人ひとりの子ども  
に心を寄せ、その意味やわけを聴き  
取り、それを子どもが成長の糧と  
し、今後の人生に生かしていくこと  
ができるようにすることが大切では  
ないか。

**答** 不登校の割合は学年を増すと  
とに増加傾向にあり、要因は、  
学校での学習や家庭環境など多様で  
ある。居心地のよい学校づくりを進  
めていきたい。

安心して暮らせる  
介護・医療保障を

**問** 先の国会で強行した医療・介  
護総合法は、多くの高齢者を  
介護サービスの対象から除外し、入  
院患者の追い出しをさらに強化する  
大改悪法である。最大の問題は要支  
援者向けサービスの切り捨てと、特  
別養護老人ホーム入所対象者の要介  
護3以上への限定である。このよう  
な方向を転換した安心の社会保障の  
充実が求められているがどうか。

**答** 今後、「日向市高齢者保健福祉  
策定の中で、十分に協議していく。

# 市議会を傍聴してみませんか!?

市議会を傍聴することは、市政の動きや課題を理解し、皆さん  
から選ばれた議員の活動状況などを知る一つの方法です。

市議会は、毎年4回の定例会(通常3月、6月、9月、12月)  
が開かれ、この時には市政全般についての一般質問も行われます。  
また、必要に応じて開かれる臨時会があります。

会議の日程や傍聴について詳しいことは、議会事務局までお問  
い合わせください。なお、9月議会の傍聴者は、延べ62名でした。

## ※議会傍聴時の注意点

- 携帯電話はマナーモードにするか、電源をお切りください。
- 録音・写真撮影をされる場合は、議会事務局に申し出てください。
- 入口の傍聴者受付票に住所とお名前を記入してください。



議場及び傍聴席は、市役所2階に  
あります。案内を表示していますが、  
分からない時は職員にお尋ねください。

# 平成25年度の決算審査から

9月19日、市長から平成25年度決算認定の議案16件が追加提案され、提案理由説明の後、監査委員の決算審査意見書の説明がなされました。9日間の議案熟読の後、9月29日に質疑を行い、各常任委員会に審査が付託されました。各常任委員会は10月1日、2日の2日間開催され、総務政策、文教福祉環境、産業建設水道常任委員会の3委員会で審査しました。

最終日、各常任委員会の審査報告を受け、討論、採決の結果、すべて原案のとおり認定しました。

各委員会における審査の過程で出された意見、要望について紹介します。



## 総務政策常任委員会

総務政策委員会に付託された議案、平成25年度一般会計決算認定1件について、委員会としては別段異議なく、全員一致をもって原案のとおり認定すべきものと決定しました。

審査の中で、東郷町3地区へのエリア拡大に伴い事業費の3分の1、2300万円を補助した「新世代地域ケーブルテレビ施設整備事業補助金」に関連して、3地区の加入は17%とのことで、「費用対効果」の点から、加入率拡大を事業者に求めるべきとの意見がありました。

なお、審査を踏まえ、次の3点を委員会の意見として付記しました。

- ①救急車2台出動中に救急要請があった件数が年間122件もあると説明を受けた。不十分な救急体制は市民の生命・安全の確保に直接関係するので、救急救命体制整備には万難を排し最善を尽くされたい。
- ②「新しい地域コミュニティ組織制度モデル事業」について。この事業の基本的な目的は、地域の自立支援、自立的な地域運営にあるので、補助金のあり方も含め、真に地域が自立して運営できるよう進められたい。
- ③職員研修事業について。研修の報告を復命書だけに終わらせず、その

## 文教福祉環境常任委員会

本定例会において、文教福祉常任委員会に付託された平成25年度決算認定7件について、10月1日、2日の2日間、所管部長等の出席を求め、慎重に審査をしました。

その結果として、まず認定第5・13・15号の3件については、委員会として全員一致をもって原案のとおり認定すべきものと決定しました。その他、認定第1・11・12・14号の4件については、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定しました。

なお、審査を踏まえ、次の2点を

の成果を関係職員にフィードバックし、全員で共有できるシステムを整備されたい。



カキ小屋フェア (細島まちづくり協議会主催)

委員会の意見として付記しました。

税務課の市税収納業務について、現年度課税分、滞納繰越分ともに収納率は前年度を上回る結果になったとの説明があった。しかし、依然として職員一人でも多い時には1000人の滞納者に対応しなければならぬこと、県内9市との比較で職員数は少ない状況にあることなど、職員の負担は軽減されていない状況であるため、先の6月定例会においても委員会付記したように、職員体制の改善に向けて一層取り組まれたい。

また、学校給食共同調理場について、新たな学校給食の拠点施設として整備されている学校給食共同調理場においては、児童生徒に安全・安心な給食を提供することはもちろんだが、地産地消の観点から、地元を生産者とタイアップできるような仕組みを提案し、地元へ愛される調理場を目指すよう取り組まれたい。

## 産業建設水道常任委員会

本委員会に付託された議案第107号平成25年度日向市水道事業会計剰余金の処分及び決算並びに認定第1号平成25年度日向市一般会計

歳入歳出決算中、本委員会付託部分について、委員会としては採決の結果、賛成多数で原案のとおり認定すべきものと決定しました。その他の認定8件は、別段異議なく全員一致をもって原案のとおり、認定すべきものと決定しました。

なお、委員会の意見として、次の3点を付記することにしました。

①上下水道施設は、東日本大震災の教訓を踏まえ様々な防災・減災対策が実施されている。ライフラインとして重要な役割を果たすことから、災害による被害を最小限に食い止めるためにも、今後も更に、防災・減災対策としての各種事業の推進に努められたい。

②「へべす」の生産管理技術の確立や販路拡大の取組みと併せ、より一層ブランド化の推進のため、今後共JA及び関係機関と一体となつて、販売戦略も含めたへべすの振興対策に取り組まれたい。

③本市の観光振興を図る上で、牧水生家を訪れる方々の利便性を確保するためにも、牧水生家付近へのトイレ設置について、文化財管理を所管する教育委員会担当部署との協議を進めるなど、早急に対応されたい。

### ▼決算認定と審議結果

議案番号	議案名	審議結果	付託委員会
議案第107号	平成25年度日向市水道事業会計剰余金の処分及び決算	可決及び認定 (全員一致)	産業建設水道
認定第1号	平成25年度日向市一般会計歳入歳出決算	認定 (賛成多数)	総務政策 文教福祉環境 産業建設水道
認定第2号	平成25年度日向市公営住宅事業特別会計歳入歳出決算	認定 (全員一致)	産業建設水道
認定第3号	平成25年度日向市財光寺南土地画整理事業特別会計歳入歳出決算	認定 (全員一致)	産業建設水道
認定第4号	平成25年度日向市用地取得特別会計歳入歳出決算	認定 (全員一致)	産業建設水道
認定第5号	平成25年度日向市城山墓園事業特別会計歳入歳出決算	認定 (全員一致)	文教福祉環境
認定第6号	平成25年度日向市簡易給水施設特別会計歳入歳出決算	認定 (全員一致)	産業建設水道
認定第7号	平成25年度日向市細島東部住環境整備事業特別会計歳入歳出決算	認定 (全員一致)	産業建設水道
認定第8号	平成25年度日向市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算	認定 (全員一致)	産業建設水道
認定第9号	平成25年度日向市下水道事業特別会計歳入歳出決算	認定 (全員一致)	産業建設水道
認定第10号	平成25年度日向市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算	認定 (全員一致)	産業建設水道
認定第11号	平成25年度日向市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	認定 (賛成多数)	文教福祉環境
認定第12号	平成25年度日向市介護保険事業特別会計 (保険事業勘定) 歳入歳出決算	認定 (賛成多数)	文教福祉環境
認定第13号	平成25年度日向市入郷地域介護認定審査事業特別会計歳入歳出決算	認定 (全員一致)	文教福祉環境
認定第14号	平成25年度日向市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	認定 (賛成多数)	文教福祉環境
認定第15号	平成25年度日向市病院事業会計決算	認定 (全員一致)	文教福祉環境

① 日向市の防災対策の現状確認  
市防災推進課から、7月に地震・津波に関する地域防災計画の見直しを行ったこと、風水害等に関しては、来月1月をめどに見直すことなど、防災対策の進捗状況について説明を受けました。

② 防災対策に関する行政視察  
7月に静岡県湖西市と吉田町を訪問し、災害発生時の議会・議員の行動マニュアルや先進事例として注目される横断歩道橋型の避難施設などについて研修しました。吉田町の津波避難タワーは15基のうち横断歩道橋型が6基。視察したタワーは収容人員1200名の大きなものであり、様々な防災対策に関する取組みが参考になりました。

③ 旭化成低レベル放射性廃棄物の保管体制について  
東日本大震災の津波被害を教訓として、現貯蔵施設の保管物をより安



静岡県吉田町の横断歩道橋型津波避難タワー

総合防災対策特別委員会では、6月議会で行った中間報告以降、次の活動を行いましたので、その概要を報告します。

全に保管管理するため、現保管施設に隣接する旭化成所有地に、行政の指導を受けながら、地下方式の新たな保管施設を建設するとの説明を受けました。

# 総合防災対策特別委員会 活動報告

## ▼表決結果の分かれた議案

議員名	畷原幸裕	海野誓生	三樹喜久代	富井寿一	日高和広	黒木金喜	松葉通明	柏田公和	鈴木富士男	溝口孝	黒木未人	木田吉信	黒木高広	甲斐善重郎	日高一直	坂口英治	西村豪武	黒木円治	岩切敏彦	甲斐敏彦	萩原紘一	黒木万治
認定第1号 平成25年度日向市一般会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
認定第11号 平成25年度日向市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
認定第12号 平成25年度日向市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●
認定第14号 平成25年度日向市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	●

○は賛成、●は反対。議員名は左から議席順。  
※ 畷原幸裕議員は議長職のため通常は表決権はありません。

## (( 討 論 ))

### 認定第1号 平成25年度日向市一般会計歳入歳出決算

**反対** 党市議団が要求した市民の生活改善の実施などは評価するが、議案不可分の原則により同意できない点がある。税制のあり方について、富裕層、大企業優遇を改め、所得や資産に応じた負担で市民の負担軽減を図るべきである。  
【日本共産党市議団】

### 認定第11号 平成25年度日向市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算

**反対** 国民健康保険法の目的にあるように、国の責任で国民の生命と健康を守る立場から、国は国保財政への負担を総医療費の45%に戻すべき。自治体も可能な限り積立基金を取り崩し住民の重い税負担を軽くするべきである。  
【日本共産党市議団】

### 認定第12号 平成25年度日向市介護保険事業特別会計(保険事業勘定)歳入歳出決算

**反対** 必要なサービスを保障する介護保険制度への改革、国庫負担割合の引き上げ、低所得者の利用料の軽減・無料化、保険料の減免制度の確立をするべきである。また、特別養護老人ホーム待機者増の問題の解決も急務である。  
【日本共産党市議団】

### 認定第14号 平成25年度日向市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算

**反対** 75歳以上の高齢者を区別・差別し負担を加える後期高齢者医療制度を廃止し、老人保健制度に戻すことを求める。社会発展のために苦勞された高齢者の長寿を喜び、安心した老後を送っていただくことが大切だ。  
【日本共産党市議団】

本誌に掲載された質問や答弁など、詳しい内容をお知りになりたい方は、会議録(11月末発行予定)をご覧ください。会議録は議会事務局、市立図書館に備えています。また、市議会のホームページでも、会議録の検索と閲覧ができます。



## 人事案件

### 教育委員会委員に

林 留美子さん(新任)

教育委員会委員のうち、本年9月30日をもって任期満了となる、赤木ツヨ子さん(山陰丁)の後任として林留美子さん(日知屋松ヶ迫)を任命することに同意しました。

### 公平委員会委員に

黒木 久遠さん(再任)

公平委員会委員のうち、黒木久遠さんが本年9月30日をもって任期満了となりますが、引き続き黒木久遠さん(江良町)を選任することに同意しました。

## 次回の議会日程 (12月定例会予定)

- 11月28日(金) 本会議提案(開会)
  - 12月8日(月) 本会議(一般質問)
  - 9日(火) 本会議(一般質問)
  - 10日(水) 本会議(一般質問)
  - 11日(木) 本会議(一般質問)
  - 12日(金) 本会議(議案質疑)
  - 15日(月) 常任委員会
  - 16日(火) 常任委員会
  - 17日(水) 常任委員会
  - 19日(金) 本会議 採決
- ※日程は変更される場合がありますので、ホームページ等でご確認ください。

## 編集後記

日向市議会では、裏表紙に掲載のとおり、11月に初の議会報告会を開催します。市民の方々に、日頃の活動をできるだけ分かりやすく報告できるよう懸命に準備しております。報告内容と様子については、次号でご紹介できたらと考えています。

議会広報特別委員会

第1回

# 議会報告会のお知らせ

日向市議会では、議会改革の一環として市民の皆さまに定期的に議会活動を報告し、また皆さんの意見や要望等を聞かせていただき、議会の政策立案及び政策提言の充実を図りたいと思います。今回が初めての議会報告会となります。議員22名が3班に分かれて各地区を担当します。ぜひお誘い合わせのうえご参加ください。

## 【内容】

- ◎ 議会の仕組み
- ◎ 9月定例会の審議状況（議案・決算）
- ◎ 質疑



## 【日程】

日時	会場	出席議員
11月11日(火) 午後7時から	中央公民館 (新町・富高・塩見地区)	全議員
11月14日(金) 午後7時から	亀崎東公民館 (日知屋枝郷地区)	甲斐敏彦、甲斐善重郎、柏田公和、 坂口英治、鈴木富士男、海野誓生、 黒木金喜
11月17日(月) 午後7時から	財光寺まちづくり事務所 (財光寺地区)	荻原紘一、岩切裕、三樹喜久代、 日高一直、溝口孝、黒木末人、 富井寿一
	美々津老人福祉センター (幸脇・美々津・寺迫地区)	甲斐敏彦、甲斐善重郎、柏田公和、 坂口英治、鈴木富士男、海野誓生、 黒木金喜
11月18日(火) 午後7時から	日知屋公民館 (日知屋本郷・細島地区)	黒木万治、黒木円治、西村豪武、 松葉通明、木田吉信、黒木高広、 日高和広
	南日向コミュニティセンター (平岩地区)	荻原紘一、岩切裕、三樹喜久代、 日高一直、溝口孝、黒木末人、 富井寿一
11月20日(木) 午後7時から	東郷公民館 (寺迫を除いた東郷地区)	黒木万治、黒木円治、西村豪武、 松葉通明、木田吉信、黒木高広、 日高和広

※上記地区に関わらずどの会場でも自由に参加できます。

◆ お問い合わせは日向市議会事務局まで ◆

〒883-8555 日向市本町10番5号 TEL:(52)8348 FAX:(52)8148 E-mail:gikai@hyugacity.jp